

# 最近10年間の歩行中小学生の交通事故状況について

交通部  
交通企画課

青森県内における歩行中の小学生による交通事故は、

- **学年別では、1年生が最も多い**
- **歩行中の死亡・重傷者のうち、75.5%が低学年（1、2年生）**
- **登下校時の死傷者が多く、45.5%を占める**
- **死亡・重傷者の違反は「飛出し」が52.6%を占める**



などの特徴がありました。

## 【保護者の皆様へ】

- 登下校時の事故が多いので、**お子さんと一緒に通学路を歩いて危険箇所の確認を！**
- 交差点や横断歩道を渡る前に、**一時停止し左右の安全確認を確実にすること**について、お子さんへの指導をお願いします！

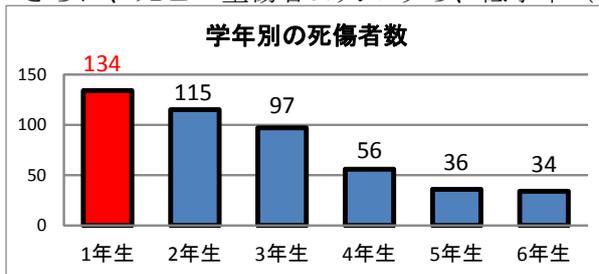
## 【車を運転する皆様へ】

- 子供は道路へ飛び出す可能性があるため、「かもしれない運転」を心掛け、側方通過時は安全な間隔を確保し、場合によっては**徐行又は停止**しましょう！

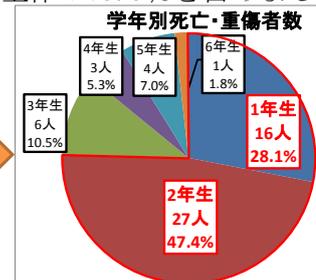
## 1 学年別の死傷者数（平成23年～令和2年合計）

学年別に死傷者数をみると、1年生が134人（28.4%）で最多となりました。

さらに、死亡・重傷者57人のうち、低学年（1、2年生）が43人で全体の75.5%を占めました。

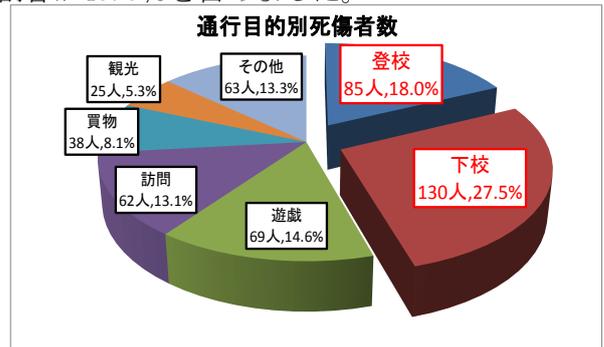
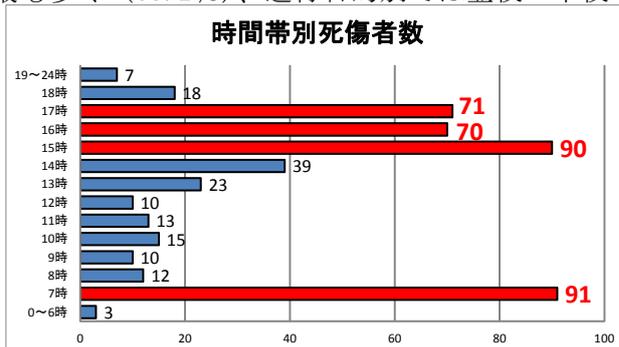


死亡・重傷者  
57人でみた場合



## 2 登下校中の死傷者数（平成23年から令和2年合計）

時間帯別をみると、登校時間帯（7時台）と下校時間帯（15時～17時台）の死傷者数が322人で最も多く（68.2%）、通行目的別では登校・下校の割合が45.5%を占めました。



## 3 違反別死亡・重傷者数（平成23年から令和2年合計）

違反別に死亡・重傷者数をみると、57人中43人で全体の75.4%に何らかの違反が認められ、「飛出し」が52.6%を占めました。

